

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 東山の里

目標達成計画

作成日: 平成 22年 8月 4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践	帰宅願望の強い利用者が2名いるので、玄関の鍵をかけているが、安全面を考慮し、職員の見守りと、利用者の生活パターンを把握していく。	利用者が入浴時時、職員2人による介助や病院受診送迎等、少ない職員で、見守る時の職員体制の確立。利用者全員の生活パターンを全職員が把握して、介助していく。	6ヶ月
2	14	人権教育・啓発活動	代表や管理者は日常的に運営理念を職員に説明し、利用者の尊厳やプライバシーについて理解してもらい、実践しているが、今後は記録の整備を進め、研修会記録として残していく。	運営推進会議や職員会議の時に、外部から講師を招聘し、人権教育の研修会を開催し、資料を基に数回に分けて、全職員に内部学習会を開催して、人権教育・啓発活動に繋げていく。	12ヶ月
3	37	災害対策	年2回消防署の指導による、地域住民参加の防災訓練を実施し、火災通報連絡先に、職員し地域の方を登録している。電気、水道、ガス等が使用不可の時の、非常災害時の、非常食、飲料水、毛布等の備蓄を検討する。	賞味期限が長く、無駄にならない高カロリーの非常食3食と、飲料水(ペットボトル24本)、利用者運ぶ時と、寒さをしのぐための毛布数枚の備蓄を検討している。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。